SCREEN

80th Anniversary

Consolidated Business Results & Forecasts

2024年3月期 第3四半期決算説明会

2024年1月31日

株式会社SCREENホールディングス

内容：

- 3Q累計 連結決算の概要　代表取締役 専務取締役（CFO）　近藤 洋一
- 事業環境および業績予想　代表取締役 取締役社長（CEO）　廣江 敏朗

資料取り扱い上の注意
・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
・本資料では、例えば、「FY2024/03」と示す場合、2023年4月1日～2024年3月31日の会計期間を表します。

3Q累計 連結決算の概要

2024年1月31日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 専務取締役 最高財務責任者（CFO）
近藤 洋一

3Q累計 連結決算の概要

3Q累計 決算実績

全社>>

- **前年同期比、増収増益**
  ➡売上、営業利益、営業利益率、経常利益、当期純利益、
  いずれも３Q累計として過去最高

- **営業CF、堅調**

SPE>>

- **前年同期比、増収増益**
  ➡売上、営業利益、営業利益率、いずれも３Q累計として過去最高

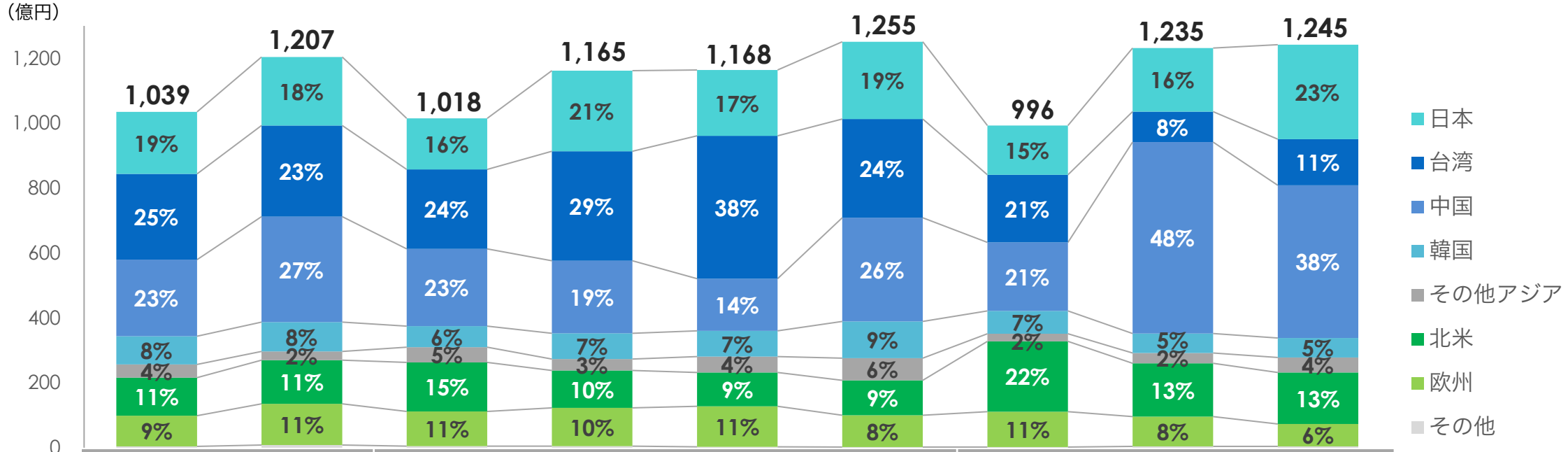
FY2024/03 3Q 連結業績

前年同期比

（億円）	FY2023/03 1Q	FY2023/03 2Q	FY2023/03 3Q	FY2023/03 3Q累計	FY2023/03 4Q	FY2023/03 通期	FY2024/03 1Q	FY2024/03 2Q	FY2024/03 3Q	FY2024/03 3Q累計	前年同期比	
売上高	1,018	1,165	1,168	3,352	1,255	4,608	996	1,235	**1,245**	**3,478**	**125**	**3.8%**
営業利益 営業利益率	178 17.5%	203 17.4%	184 15.8%	566 16.9%	197 15.8%	764 16.6%	134 13.5%	251 20.3%	**251** **20.2%**	**636** **18.3%**	**70**	**12.4%** **1.4pt**
経常利益	182	204	185	571	201	773	136	256	**253**	**646**	**74**	**13.1%**
親会社株主に帰属する当期純利益	160	135	121	418	156	574	94	169	**182**	**445**	**27**	**6.6%**

全社地域別売上高比率

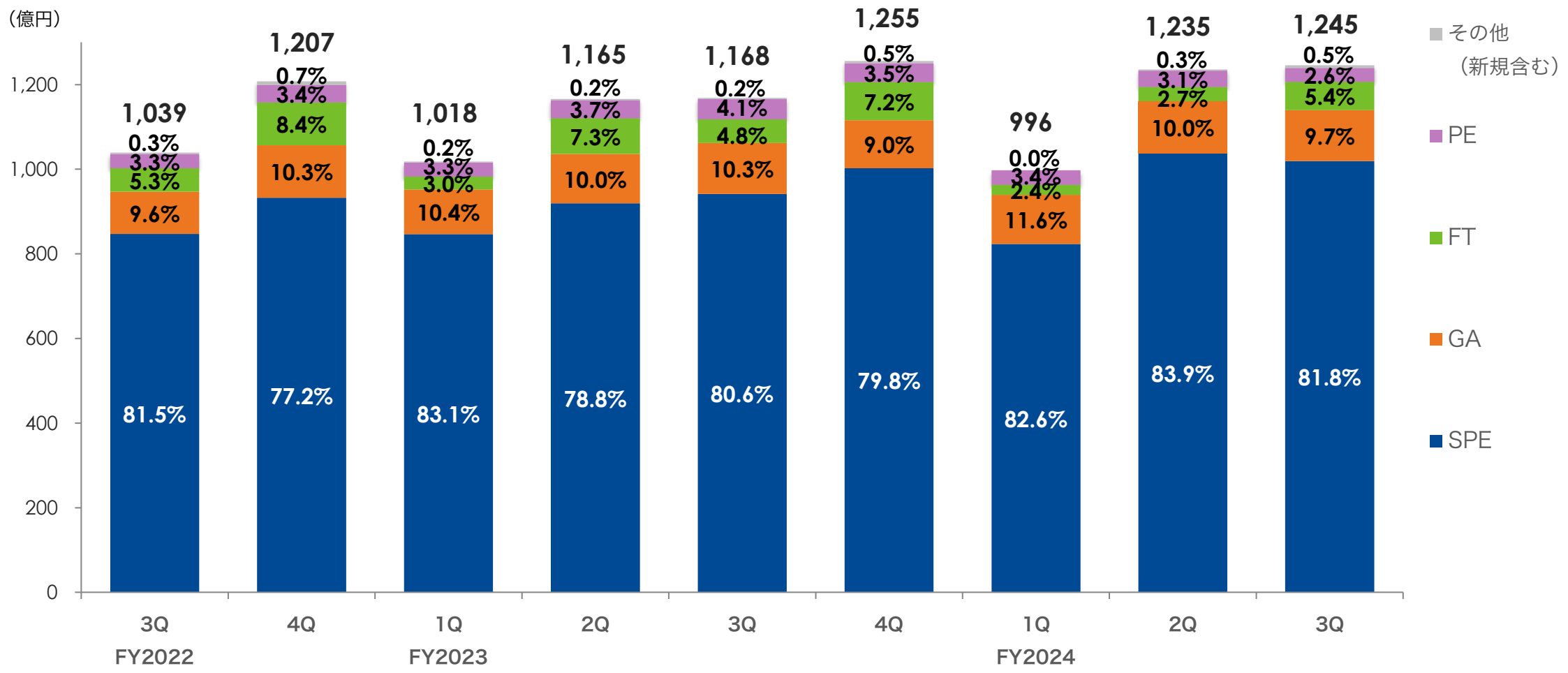
四半期



（億円）	FY2022/03		FY2023/03				FY2024/03		
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
日本	191	211	157	248	203	238	152	196	**291**
台湾	264	281	245	338	440	304	208	94	**142**
中国	236	325	238	223	161	320	211	590	**471**
韓国	87	90	65	80	79	113	71	60	**60**
その他アジア	41	27	47	35	49	68	23	32	**46**
北米	117	135	151	115	104	108	217	164	**159**
欧州	95	127	107	118	125	98	109	92	**69**
その他	4	8	5	5	3	2	2	4	**4**

セグメント別売上高比率

四半期



FY2024/03 3Q 連結業績・四半期推移

セグメント別

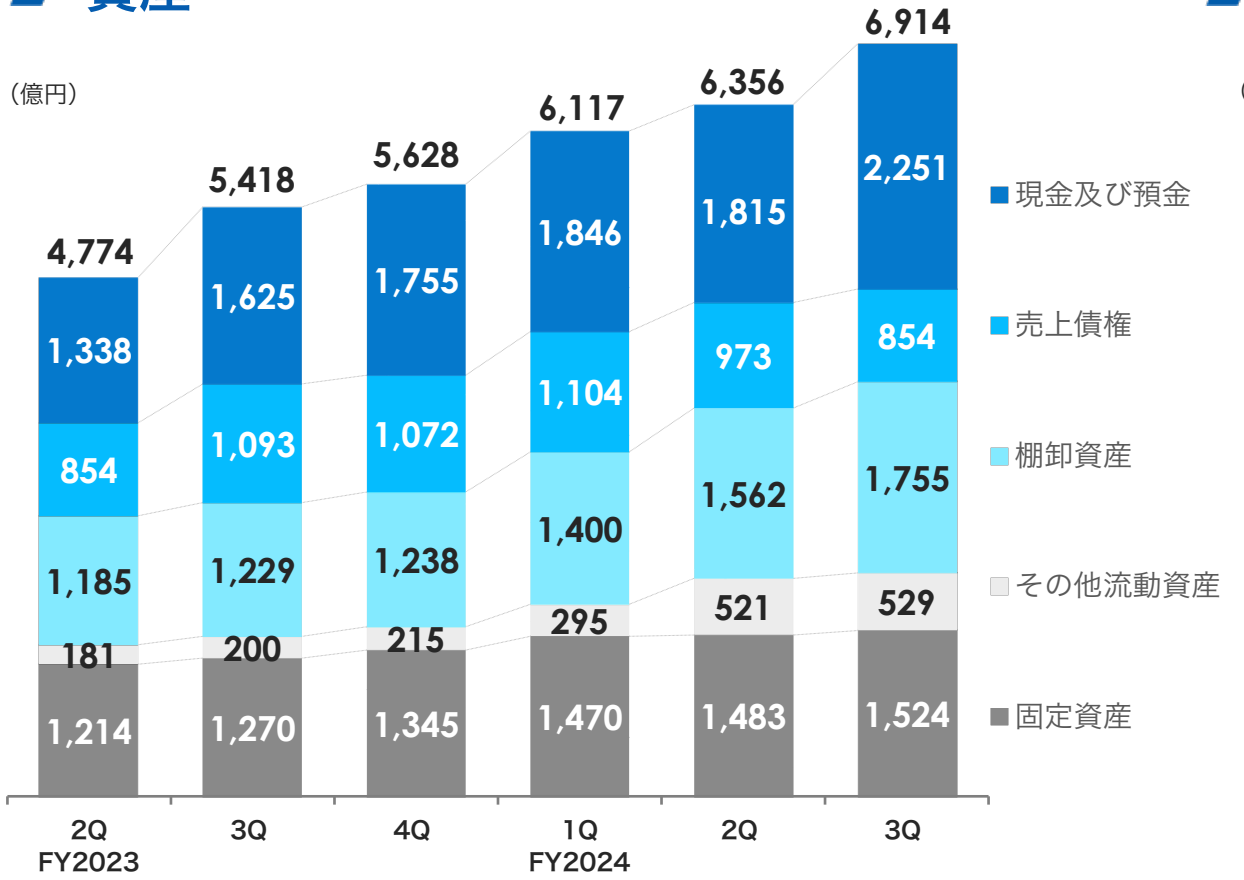
	（億円）	FY2022/03 3Q	FY2022/03 4Q	FY2023/03 1Q	FY2023/03 2Q	FY2023/03 3Q	FY2023/03 4Q	FY2024/03 1Q	FY2024/03 2Q	FY2024/03 3Q
SPE	売上	846	932	846	919	941	1,002	823	1,037	**1,019**
	営業利益	171	214	188	195	173	211	137	251	**255**
	営業利益率	20.2%	23.0%	22.3%	21.3%	18.5%	21.1%	16.8%	24.2%	**25.1%**
GA	売上	99	123	105	116	120	113	115	123	**120**
	営業利益	4	5	6	9	10	6	9	12	**13**
	営業利益率	4.3%	4.3%	6.4%	8.2%	9.0%	6.1%	8.0%	10.2%	**11.0%**
FT	売上	55	101	30	84	56	90	23	33	**67**
	営業利益	-3	7	-8	-2	-0	-7	-4	-1	**-0**
	営業利益率	-5.5%	7.2%	-27.0%	-3.1%	-0.8%	-7.8%	-20.1%	-4.9%	**-0.2%**
PE	売上	33	40	33	42	47	44	34	38	**32**
	営業利益	6	5	4	11	10	7	3	6	**2**
	営業利益率	17.8%	12.9%	14.0%	26.2%	21.1%	17.2%	10.9%	17.6%	**7.7%**

FY2024/03 3Q 連結業績　セグメント別

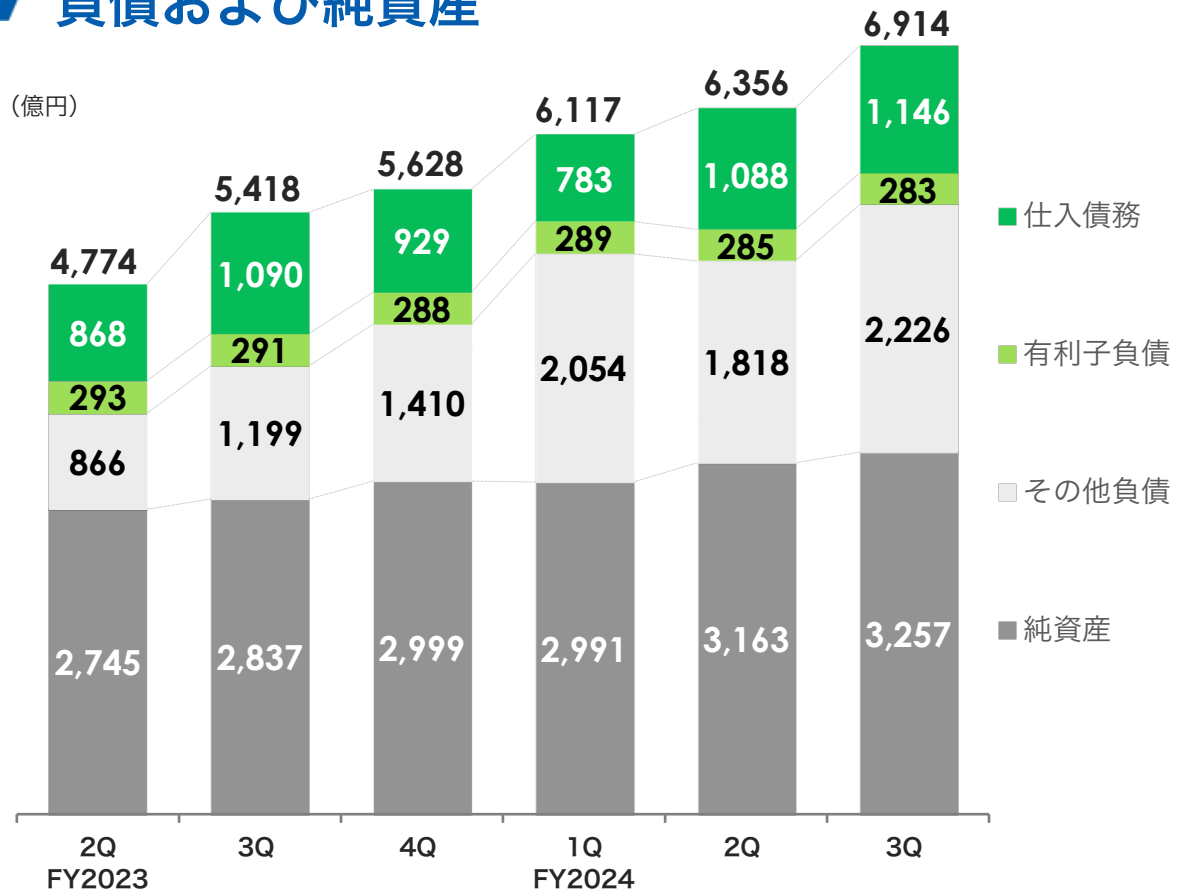
	（億円）	FY2024 2Q	FY2024 3Q	QoQ 売上増減		QoQ 営業利益増減		FY2023 3Q累計	FY2024 3Q累計	YoY 売上増減		YoY 営業利益増減	
SPE	売上	1,037	**1,019**	-17	-1.7%	4	1.7% 0.9pt	2,706	**2,879**	172	6.4%	87	15.7% 1.8pt
	営業利益 営業利益率	251 24.2%	**255** **25.1%**	減収増益。中国比率は低下、日本、台湾比率は上昇				557 20.6%	**644** **22.4%**	メモリー向けの売上は減少、ファウンドリー向け増加、増収増益。台湾向けの売上は減少、中国や北米向けが増加			
GA	売上	123	**120**	-3	-2.7%	0	4.6% 0.8pt	342	**359**	17	5.0%	7	29.4% 1.9pt
	営業利益 営業利益率	12 10.2%	**13** **11.0%**	売上は微減、リカーリングビジネス（RB）は引き続き安定、増益				27 7.9%	**35** **9.8%**	PODなどの装置、RBともに売上増。増収増益			
FT	売上	33	**67**	33	98.5%	1	- % 4.7pt	171	**125**	-46	-27.0%	4	- % 1.3pt
	営業利益 営業利益率	-1 -4.9%	**-0** **-0.2%**	増収増益。売上増により赤字幅は減少				-11 -6.6%	**-6** **-5.3%**	顧客の設備投資低迷を受け、売上減。赤字幅は減少			
PE	売上	38	**32**	-6	-16.0%	-4	-63.0% -9.8pt	123	**104**	-19	-15.4%	-12	-50.0% -8.5pt
	営業利益 営業利益率	6 17.6%	**2** **7.7%**	減収減益。売上減により営業利益も低下				25 20.9%	**12** **12.4%**	減収、売上の減少や固定費の増加などにより減益			

財務状況：連結貸借対照表

資産



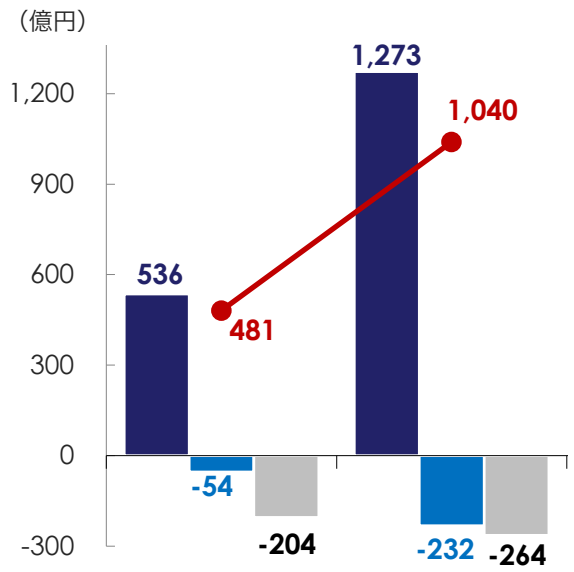
負債および純資産



● 受注・売上増に伴い棚卸資産が増加。また、前受金受領・3Q末休日による現金及び預金の高止まりもあり、自己資本比率は47.1%。純資産は3,257億円に

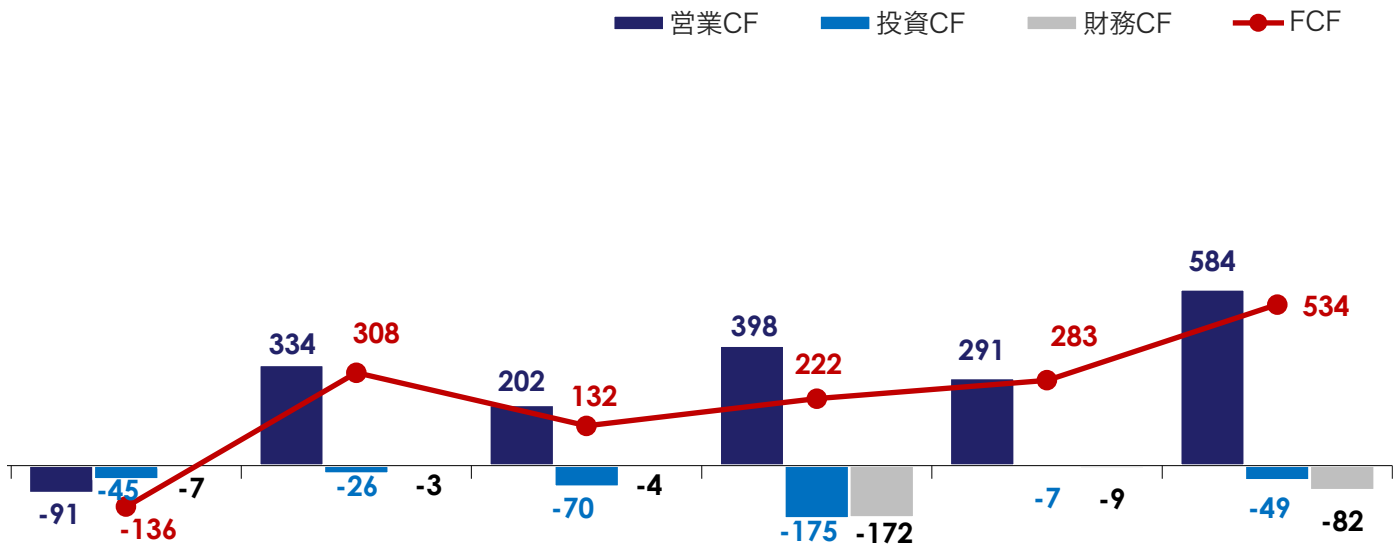
財務状況：連結キャッシュ・フロー

3Q累計



（億円）	FY2023/03 3Q累計	FY2024/03 3Q累計
営業CF	536	**1,273**
投資CF	-54	**-232**
FCF	481	**1,040**
財務CF	-204	**-264**

四半期



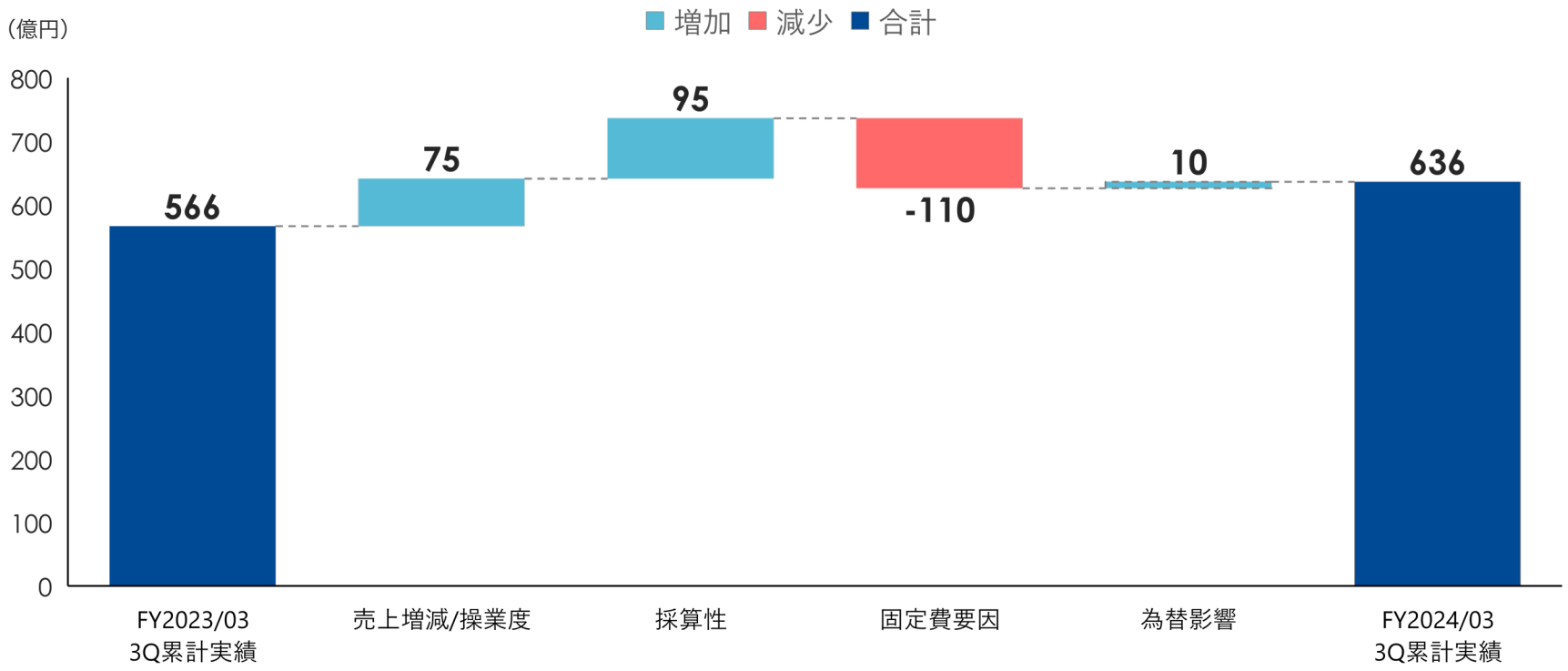
			FY2024/03		
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
−91	334	202	398	291	**584**
−45	−26	−70	-175	-7	**-49**
−136	308	132	222	283	**534**
−7	−3	−4	-172	-9	**-82**

※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

- 営業CFは、前受金受領もあり、堅調に推移
- 投資CFは、新工場（2Qに高岡、３QにS³-5、SPEクォーツ・いわき、他）建設などの生産能力増強に向けた支払い
- 財務CFは、主に配当金の支払い

営業利益増減分析

FY2023/03 3Q累計 vs FY2024/03 3Q累計



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度の要因は、主にSPE
>>採算性の改善は、主にSPE、FT
>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
>>為替影響は、主にGA、PE

事業環境および業績予想

2024年1月31日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者（CEO）
廣江 敏朗

事業環境および業績予想

事業環境

- **SPE：** CY2024の半導体市況は、PC、スマホ、サーバー全てでプラス成長の見込み。WFEについては、中国での成熟ノード向け投資は依然活発。大手ロジック・ファウンドリーの最先端投資は予定どおり進行予定。メモリー投資の回復はCY2024後半からを見込む。パワー半導体への投資はGXを背景に底堅く推移すると予想

- **GA：**8年振りのdrupa展（業界最大展示会、5月）前の買い控えあるも、開催後の再成長に期待

- **FT：**ディスプレー需要は来期、好転を見込む

- **PE：**来下期の市場回復に向け、開発投資を強化中

業績予想

- **FY2024 通期利益予想を上方修正** (前期比増収増益)
  ➡売上、利益ともに、3期連続で過去最高を更新予定

- **FY2024 通期配当、過去最高に** (株式分割前換算で405円を予想)
  ➡期末配当、10月予想比増配

- **中期経営計画最終年度、数字目標は達成が視野に。持続的成長に向けた投資継続**

SPE 事業概況

市場動向および見通し

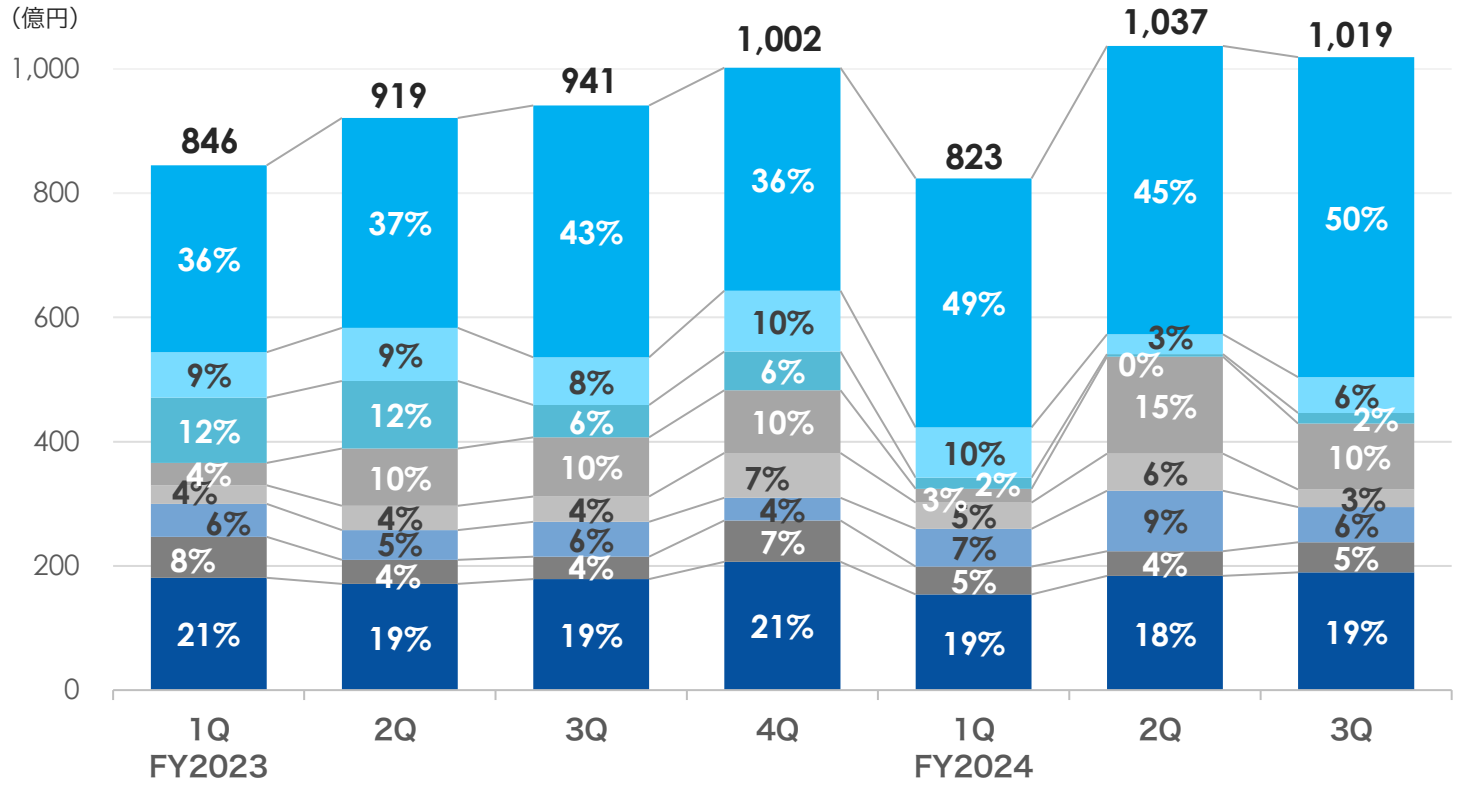
- **WFE：CY2023はマイナス10%で着地。CY2024は1桁%前半の成長を見込む**
  - ・ファウンドリー・ロジック：最先端向け、成熟ノード向け投資が堅調に継続
  - ・メモリー：DRAM中心に投資回復の動きも、NAND回復には時間を要す
- **アプリケーション別投資動向**

ファウンドリー	最先端向け投資は予定どおり進行
ロジック	北米新工場へ設備導入の動き
メモリー	AI関連でDRAM投資増見込みも、回復は年後半を想定
画像素子	車載・AR/VRなど新たな市場に向け設備投資は堅調に継続
パワーデバイス	SiCや300mmパワー向け投資中心に堅調に推移
その他	アナログ、電子部品、MEMS向けも堅調

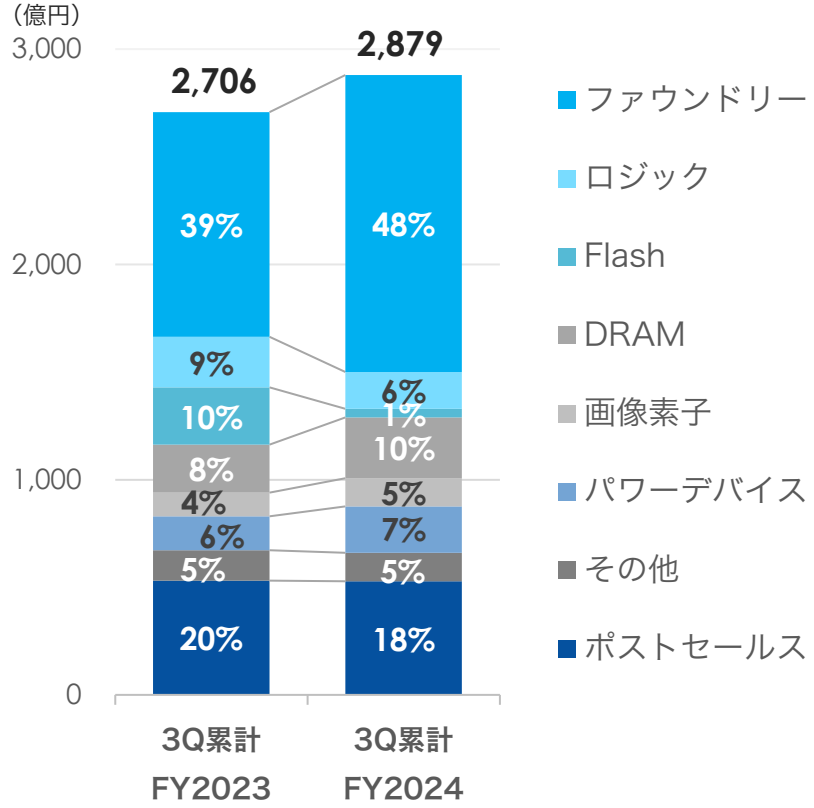
- **中国市場：新興のみならず既存ファウンドリーやメモリーの成熟ノード向け投資は依然活発**

SPE 連結・新規装置アプリケーション別、およびポストセールス売上推移

四半期



3Q累計



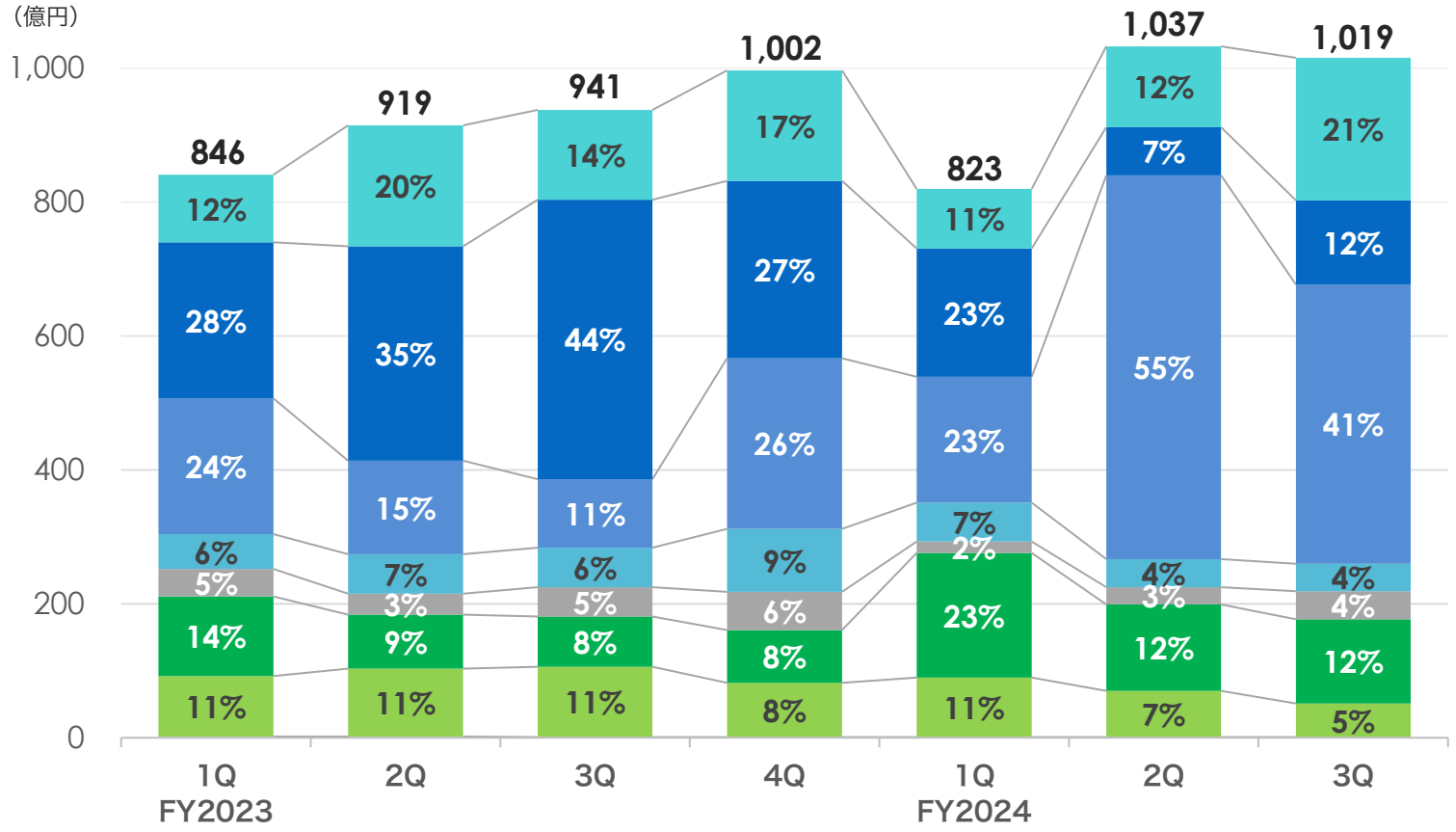
ポストセールス売上高（億円）	181	171	179	207	154	184	**190**	531	**528**

注）ポストセールス売上高は、過去の発表数字に集計上の訂正を入れています

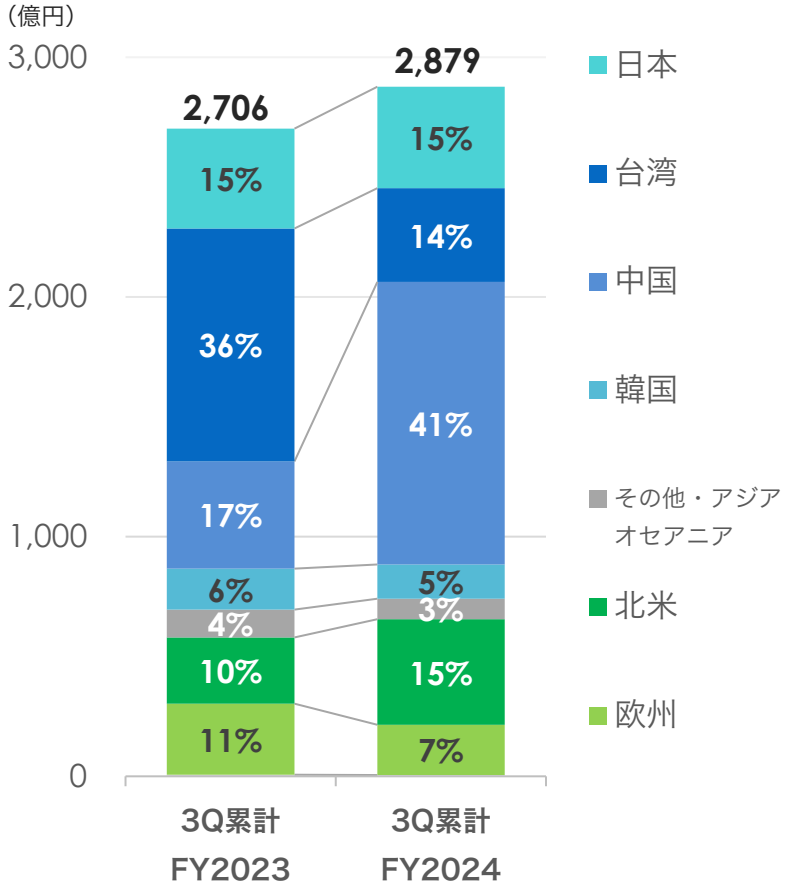
- アプリケーション別（QoQ）：ファウンドリー増、中国向けが牽引。ロジック増は北米向け
  （3Q YoY）：ファウンドリー増、中国向けが牽引
- ポストセールス（QoQ）：売上微増。20%程度の比率維持

SPE 連結地域別売上高比率 - 仕向地ベース

四半期



3Q累計

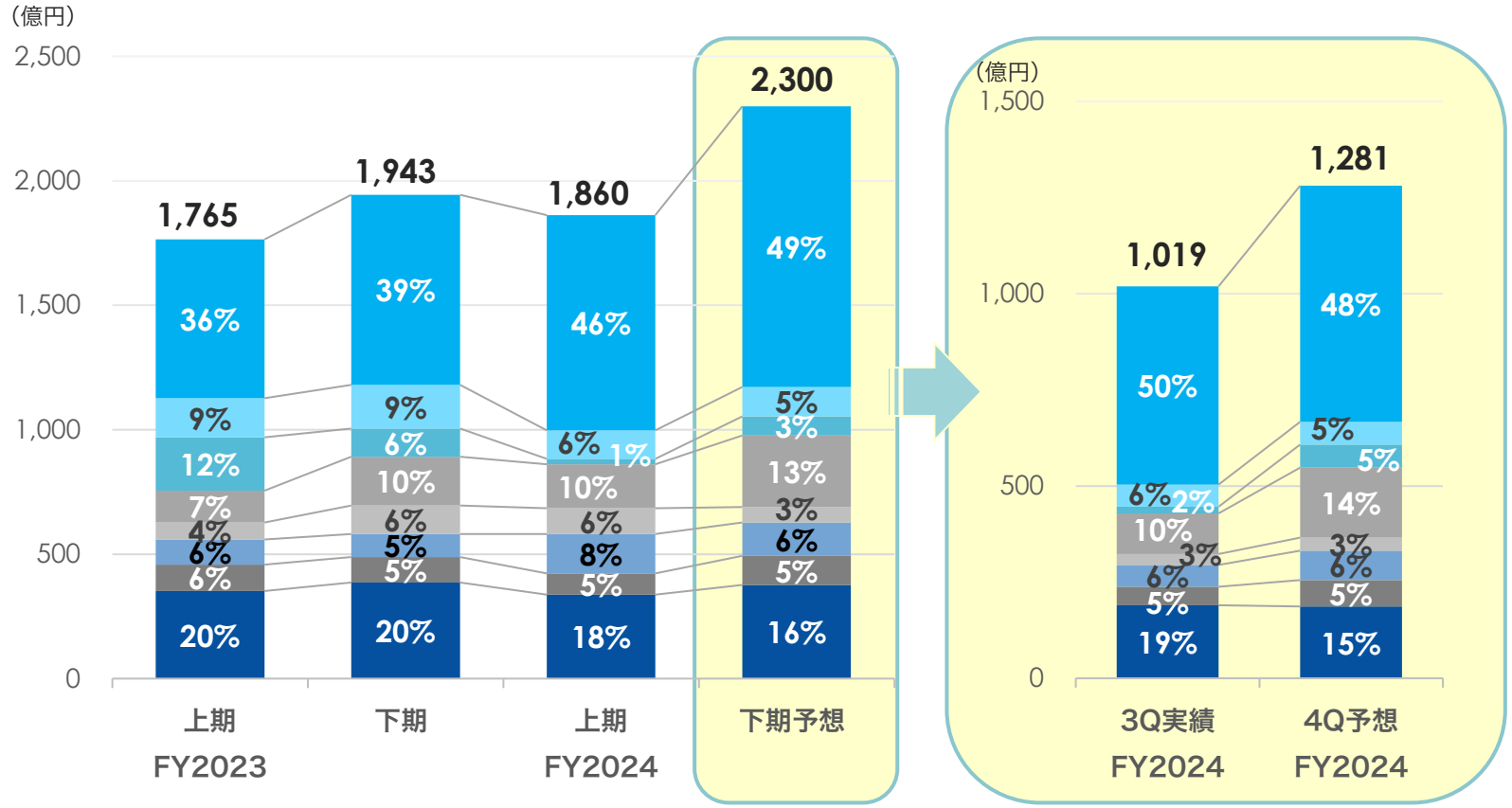


- 3Q（QoQ）：中国向け売上比率QoQでは減少するも依然比率高。日本比率増
- 3Q累計（YoY）：中国向け売上比率大幅増。北米も増

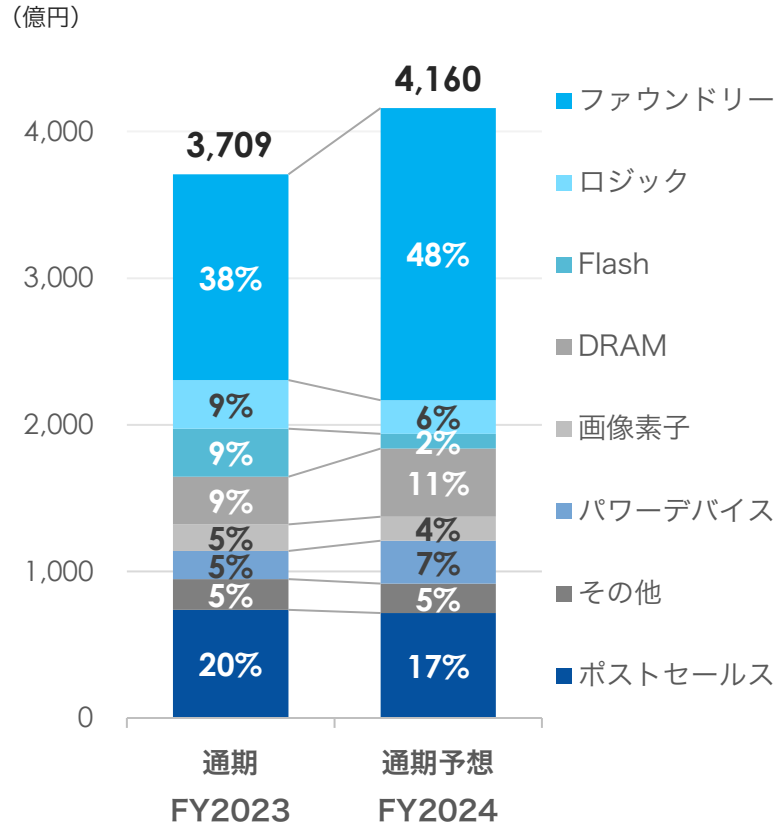
SPE 売上高比率予想（連結）

アプリケーション（デバイス）別

■半期



■通期

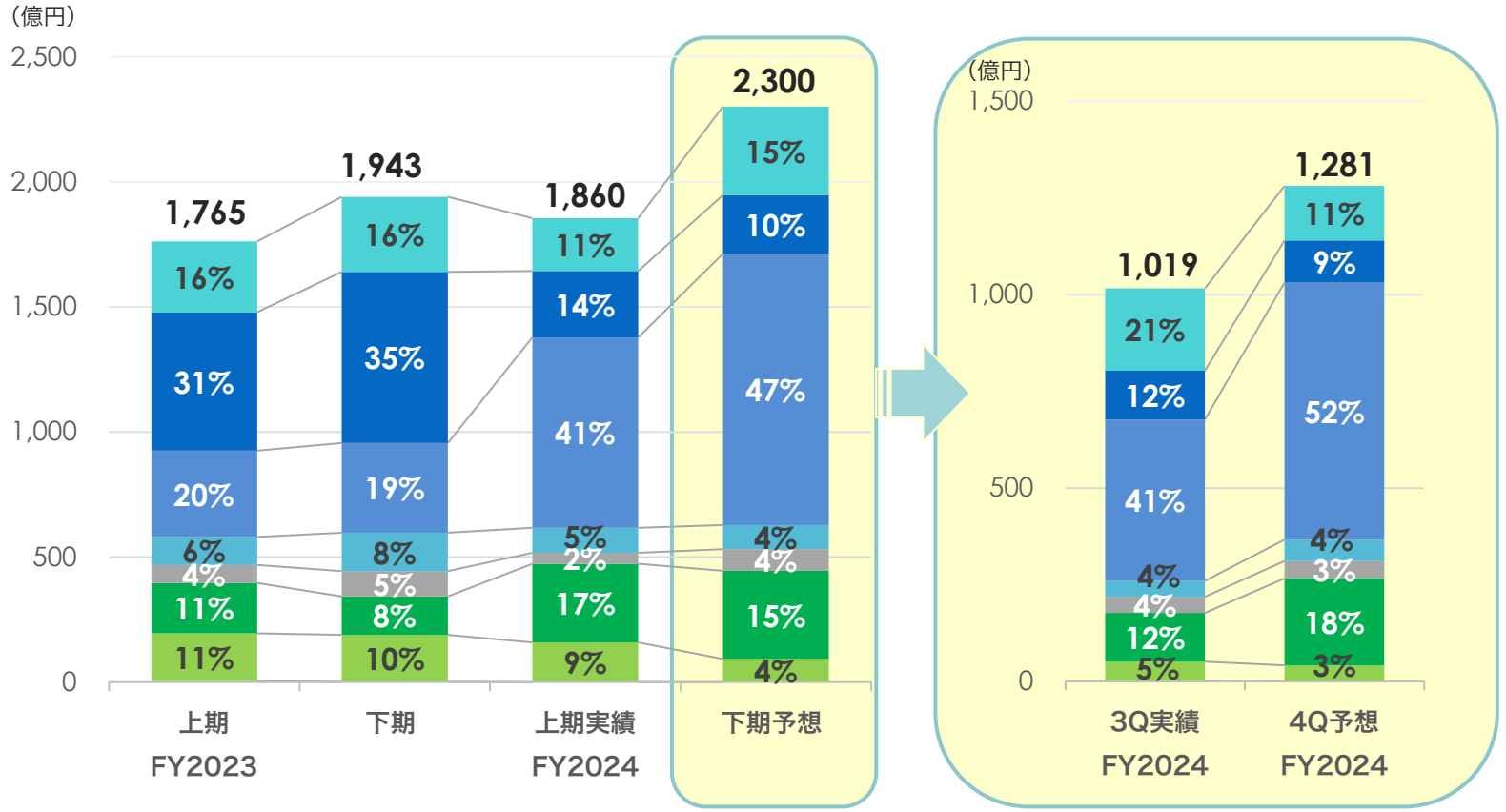


- 上期実績vs下期予想：ファウンドリーがさらに増。DRAM、Flashともに微増
- 下期予想（YoY）：ファウンドリーが大きく増加見込み
- 3Q実績 vs 4Q予想：4Q DRAM増加は中国が貢献
- 通期予想（YoY）：ファウンドリー大幅増、パワーデバイス、DRAMは堅調

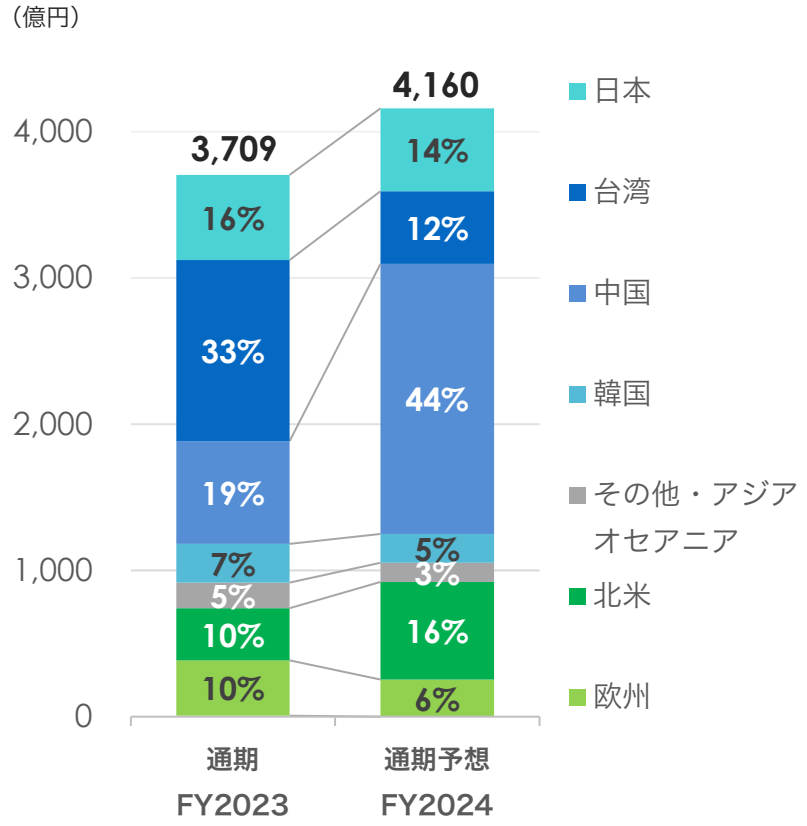
SPE 売上高比率予想（連結）

地域別 - 仕向地ベース

■半期



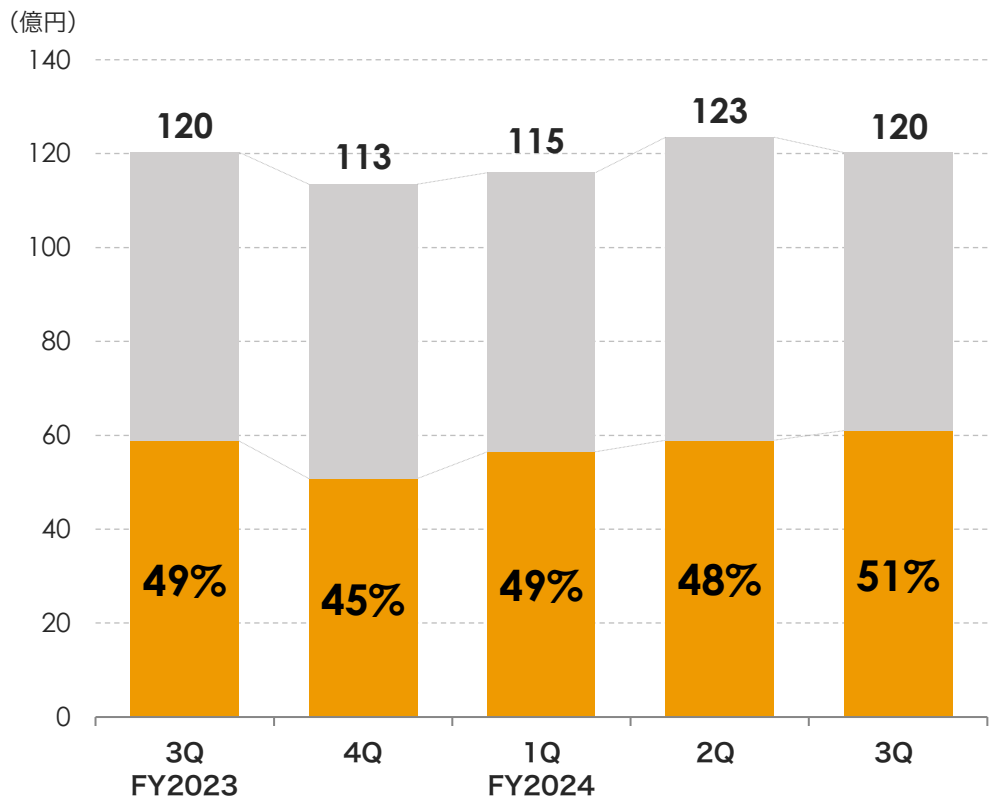
■通期



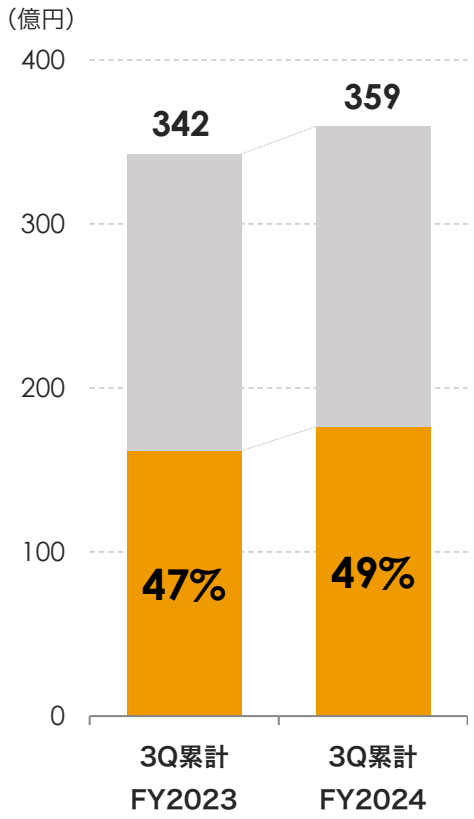
- 上期実績 vs 下期予想：日本増。下期中国比率は10月予想よりさらに伸長。北米比率減も金額は増
- 下期予想（YoY）：中国比率が大幅増。北米比率も大きく増
- 3Q実績 vs 4Q予想：4Q中国比率再び50%以上。北米比率も増
- 通期予想（YoY）：通期中国比率2倍以上成長。北米比率も増

GA 連結売上高推移

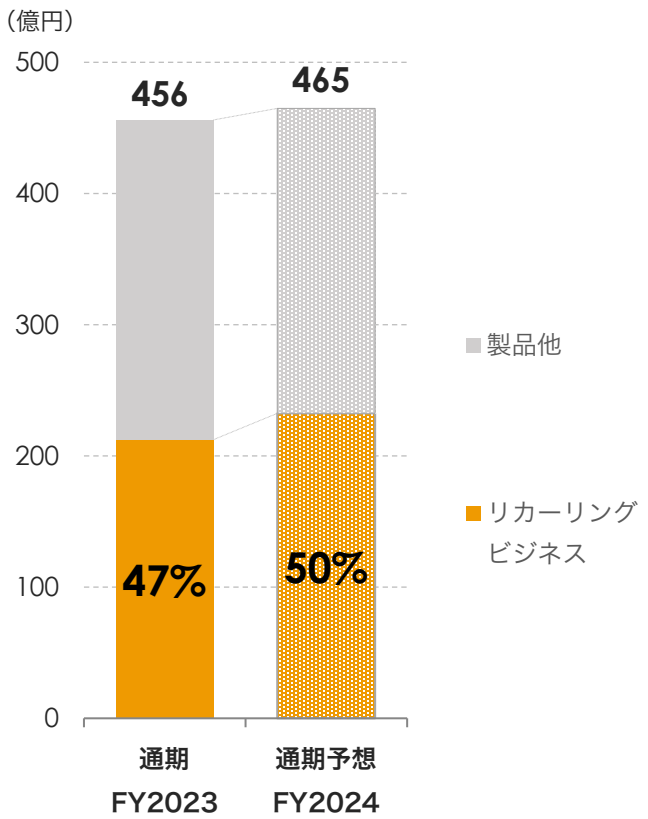
四半期



3Q累計



通期

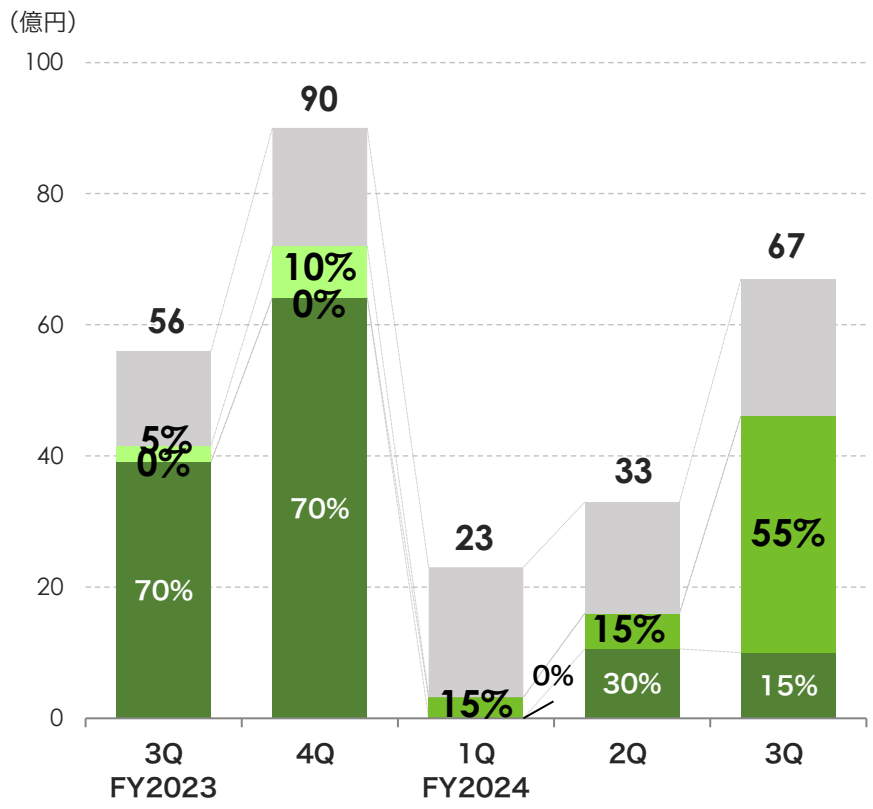


＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

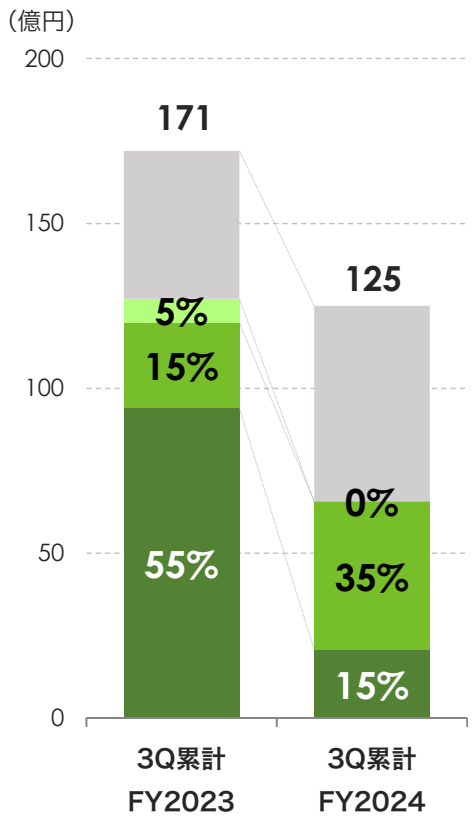
- インクを中心とするリカーリングビジネス（RB）は安定推移
- 足元は5月のdrupa展（業界最大の展示会、8年振り）前の買い控えあるも、その後は再成長を見込む
- 通期、営業利益率は8%台を目指す

FT 連結売上高推移

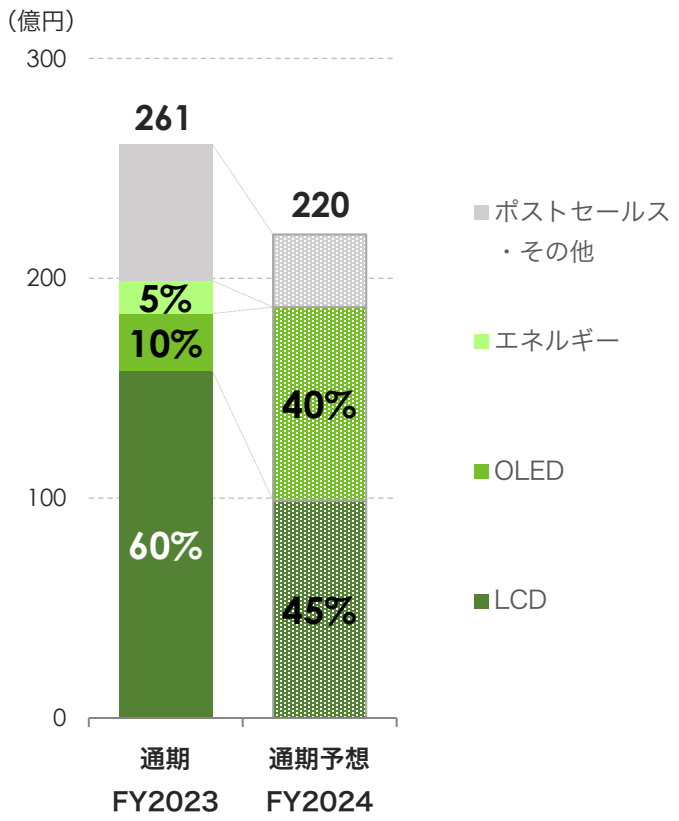
四半期



3Q累計



通期

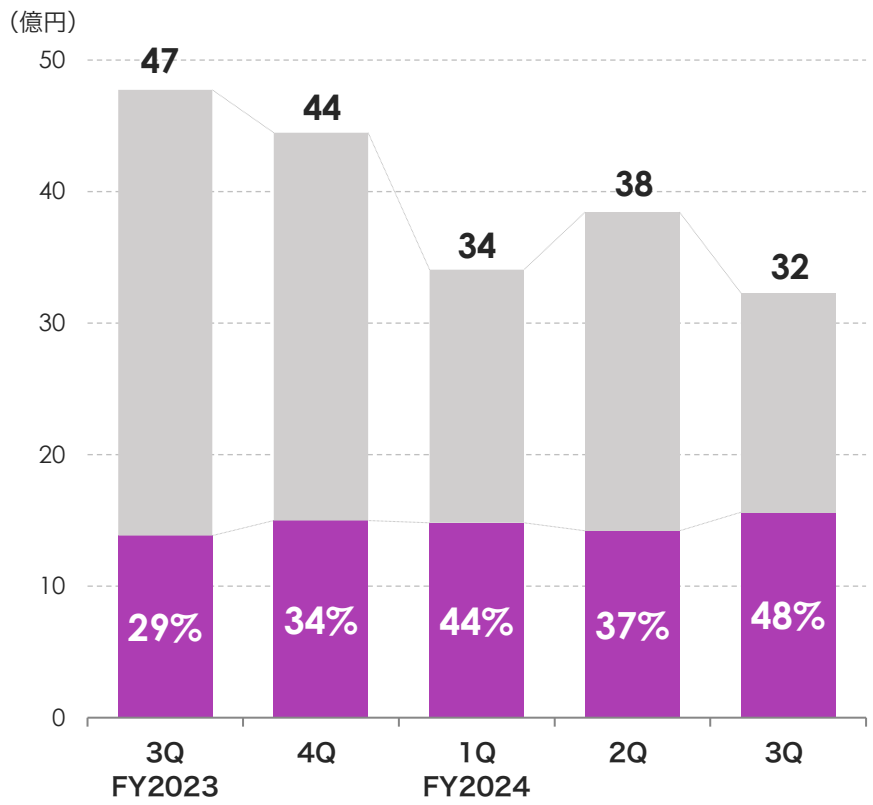


＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記。FY2024から、エネルギーはその他に含める

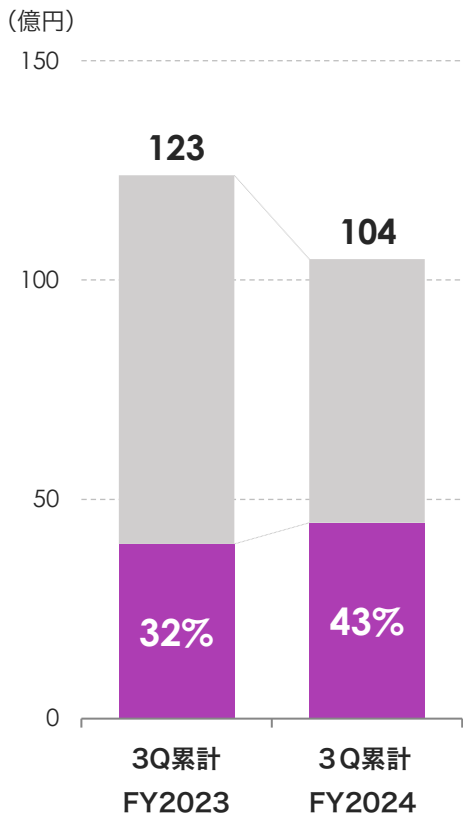
- ディスプレー需要は来期好転を見込み、業績も回復する見通し
- 来期売上は、LCD中心。後半にはOLED向け受注増加を見込む

PE 連結売上高推移

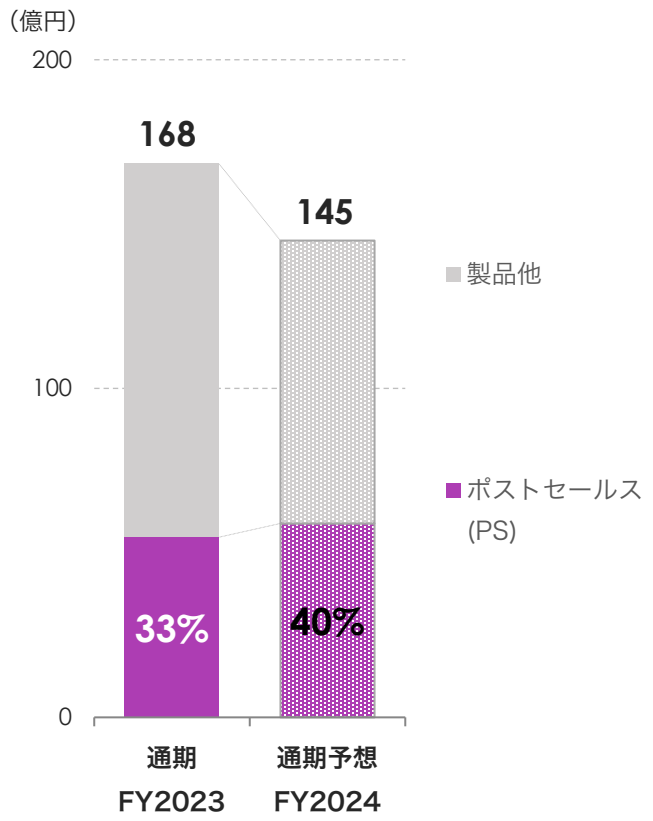
四半期



3Q累計



通期



＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

- データセンター向け需要回復は、来期後半を見込む
- 市場回復後の成長に期待し、来期に向けても新製品投入を継続
- ポストセールスは堅調、営業利益10%以上を継続

FY2024/03 業績予想 (2024年1月31日時点)

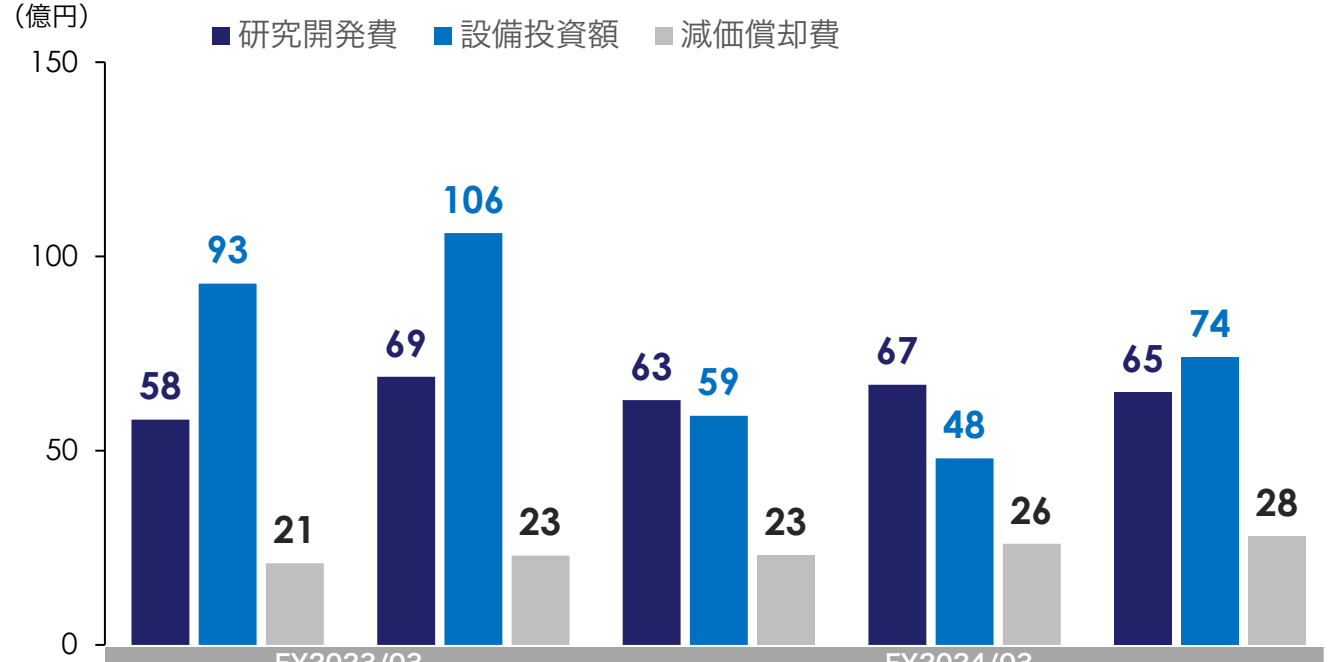
(億円)		FY2023/03	FY2024/03						
		通期実績	上期実績	下期			通期		
				3Q実績	4Q予想	1月発表 下期予想	7月 発表予想	10月 発表予想	1月 発表予想
売上高		4,608	2,232	1,245	1,523	2,768	4,950	5,000	5,000
営業利益 営業利益率		764 16.6%	385 17.3%	251 20.2%	249 16.3%	500 18.1%	850 17.2%	875 17.5%	885 17.7%
経常利益		773	393	253	239	492	820	860	885
親会社株主に帰属する当期純利益		574	263	182	195	377	580	600	640
SPE	売上	3,709	1,860	1,019	1,281	2,300	4,100	4,160	4,160
	営業利益 営業利益率	769 20.7%	389 20.9%	255 25.1%	286 22.3%	541 23.5%	900 22.0%	930 22.4%	930 22.4%
GA	売上	456	239	120	106	226	460	460	465
	営業利益 営業利益率	33 7.4%	21 9.1%	13 11.0%	6 5.7%	19 8.4%	35 7.6%	35 7.6%	40 8.6%
FT	売上	261	57	67	96	163	220	220	220
	営業利益 営業利益率	-18 -7.0%	-6 -11.2%	-0 -0.2%	1 1.0%	1 0.6%	-15 -6.8%	-15 -6.8%	-5 -2.3%
PE	売上	168	72	32	41	73	145	145	145
	営業利益 営業利益率	33 19.9%	10 14.4%	2 7.7%	3 7.3%	5 6.8%	20 13.8%	20 13.8%	15 10.3%
その他および調整	売上	12	2	6	2	8	25	15	10
	営業利益	-54	-29	-19	-47	-66	-90	-95	-95

注）FY2024/03（通期）想定為替レート>> 1USD＝￥140 、1EUR＝￥150
想定為替感応度（通期営業利益ベース）>> 対USD：￥1.3億、対EUR：￥0.3億

＊ セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記

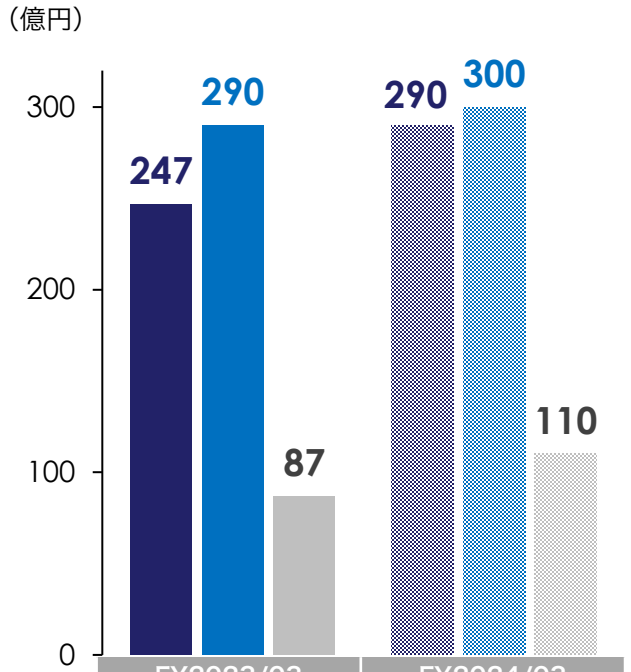
研究開発費・設備投資額・減価償却費

四半期



（億円）	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
研究開発費	58	69	63	67	**65**
設備投資額	93	106	59	48	**74**
減価償却費	21	23	23	26	**28**

通期

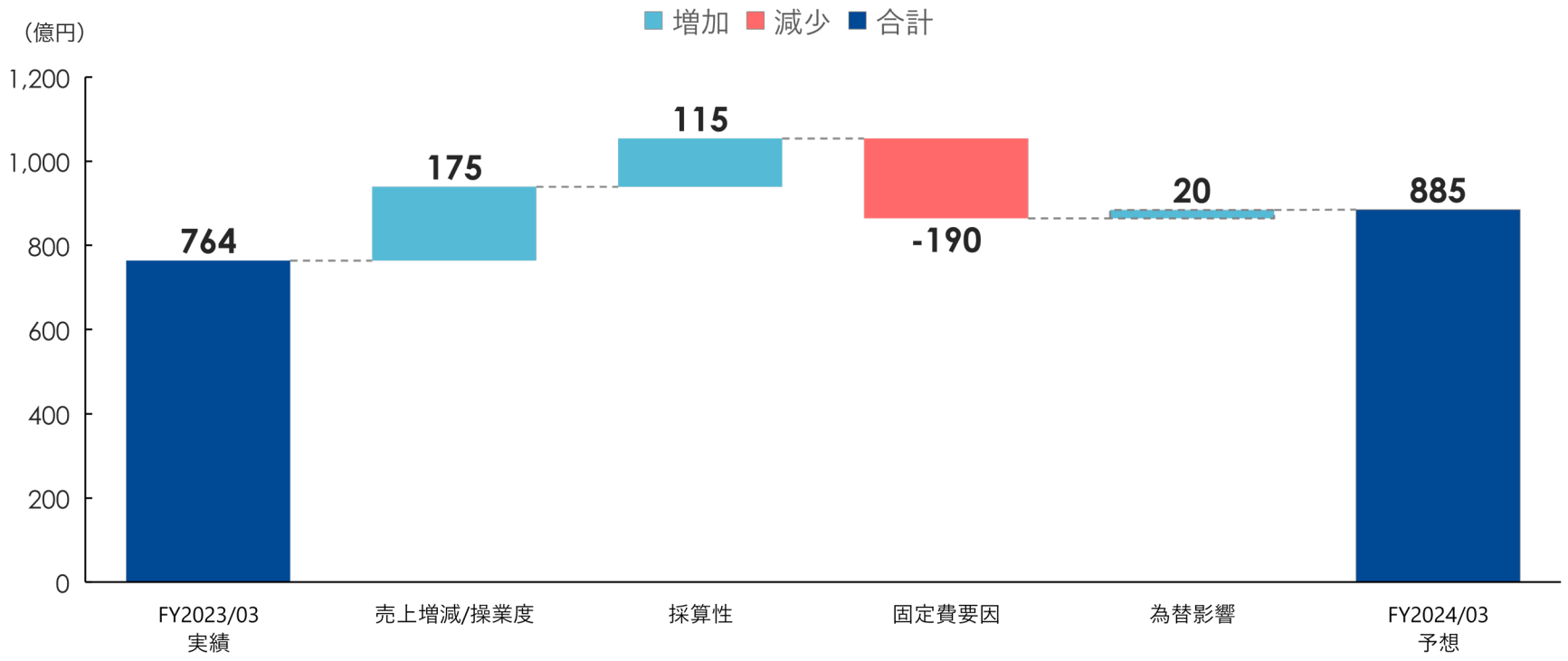


FY2023/03 通期	FY2024/03 通期予想
247	**290**
290	**300**
87	**110**

- 研究開発費：SPEでの研究開発を中心に、新規事業領域（ライフサイエンス、AI、アドバンスドパッケージ、エネルギー/水素関連分野）の新製品開発など
- 設備投資額：SPEの生産能力増強中心（ 2Qに高岡、３QにS³-5、SPEクォーツ・いわき新工場、他）

営業利益増減分析

FY2023/03 実績 vs FY2024/03 予想（1月予想）



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度の要因は、主にSPE
>>採算性の改善は、主にSPE、FT
>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
>>為替影響は、主にGA、PE

配当について

2024年3月期

- 通期・過去最高を更新予定

	2024年3月期						
	7月予想	10月予想	1月発表	備考	株式分割前換算		
					7月予想	10月予想	1月発表
1株当たり 中間配当	140円	167円	167円 実施済	分割前株式数を基準に配当	140円	167円	167円 実施済
1株当たり 期末配当予想	114円	107円	119円	分割後株式数を基準に配当（1株につき2株の割合で分割）	228円	214円	238円
合計	ー	ー	ー	単純合計できないため非表示	368円	381円	405円

最近のグループニュース（Webサイトより抜粋：2023年11月1日～2024年1月31日）

HD

- SCREENと京都フィナンシャルグループ、「持続可能な社会の実現に向けた包括連携協定」を締結（2023.11.28）
- 京都府内の児童養護施設8カ所に収穫米を寄付（2023.11.30）
- 量子アニーリングのベンチャー企業シグマアイ社の株式を取得（2023.12.1）
- 「Science Based Targetsイニシアチブ（SBTi）」の認定を更新 ～1.5°C水準に整合的な温室効果ガス削減目標～（2024.1.11）
- 新ブランド「SCRAIS (スクライズ)」を立ち上げ～AI技術による最新の検査計測ソリューション～（2024.1.29）

SPE

- 次世代パワーデバイス向けコーター・デベロッパーを発売 ～「RF-200EX」「RF-300EX」を新たにラインアップ～（2023.11.7）
- 枚葉式洗浄装置「SU-3400」が2023年「日経産業新聞賞」を受賞（2024.1.9）
- 半導体製造装置の新工場「S^3-5（エス・キューブ ファイブ）」が完成（2024.1.17）

FT

- 半導体先端パッケージ専用の塗布乾燥装置「Lemotia」を開発（2023.12.5）

AS

- テキストマイニング・ツール「KH Coder オフィシャルパッケージ」を発売（2023.12.20）

ESG関連の取り組み

E（環境）

- 「Science Based Targetsイニシアチブ（SBTi）」の認定を更新
  - 1.5°C水準に整合的な温室効果ガス削減目標に（詳細はP.31）

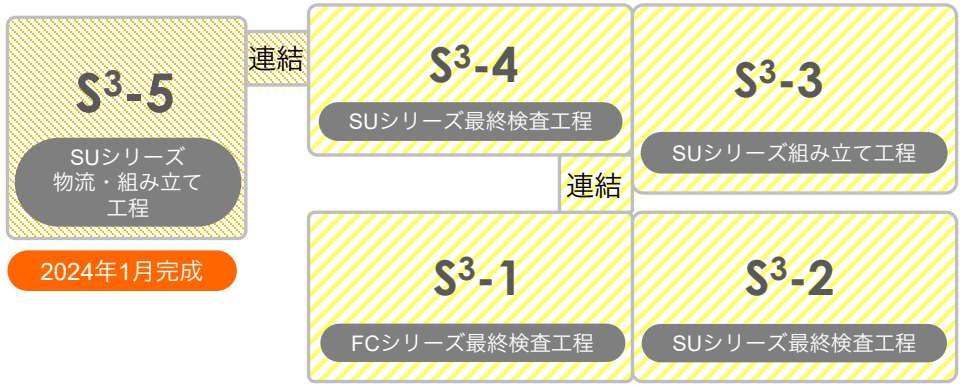
S（社会）

- 企業理念浸透施策
  - 経営陣と社員の対話（タウンホールミーティング・車座）実施
    （海外子会社含む、のべ30回以上、下期も継続中）
- 第2回エンゲージメントサーベイ実施
  - 10年後のありたい姿の実現に向け、社員の多様な意識や声を聴き現状を把握
  - ソリューションクリエーターを育成するための各種施策に反映するとともに、組織にもフィードバックし、各組織の活性化に活用

Topics>>

半導体製造装置の新工場「S³-5（エス・キューブ ファイブ）」完成 <2024年1月17日>

完成したS³-5



■ S³-5（エス・キューブ ファイブ）

- 彦根事業所敷地内に、既存工場S³-3やS³-4と連結し建設。生産開始から出荷まで、従来に増して効率的な生産フローを実現
- 主力製品である枚葉式洗浄装置の生産工程の一部である部品仕分けの自動化や、コンポーネントの組み立て機能を強化
- S³-5の稼働により、S³-4の稼働からさらに20%生産能力アップ。S³-4・5トータルで、2022年比40%強の生産能力アップとなる
- 総工費：約80億円

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>生産能力の強化によってさらなるシェア拡大を目指すとともに、収益性向上と競争力強化を図る
>>設置する全てのクリーンルームに省エネルギー対応の空調設備を導入。生産設備の環境負荷を低減

次世代パワーデバイス向けコーター・デベロッパーを発売（2023年11月から販売開始）
～「RF-200EX」「RF-300EX」を新たにラインアップ～ <2023年11月7日>

- 高い生産性と省フットプリントの両立を実現
- レジスト消費量の大幅な削減、装置の稼働時における消費電力低減など、環境にも配慮

RF-200EX

- さまざまな製造プロセスや多様な薬液にフレキシブルに対応可能
- 対応ウエハーサイズ：150／200mm

RF-300EX

- 標準から薄型まで幅広いウエハーに対応。
  ポリイミドなどの厚膜塗布にも対応など、柔軟性の高い装置に
- 対応ウエハーサイズ：300mm

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>多様化する次世代パワーデバイスの安定生産に寄与
>>環境に配慮した装置ニーズに応え、半導体デバイスのさらなる発展に貢献

枚葉式洗浄装置「SU-3400」が2023年「日経産業新聞賞」を受賞

＜2024年1月9日＞

- 日本経済新聞社が主催する「2023年 日経優秀製品・サービス賞」において、世界最高レベルの生産性と高い環境性能を備えた半導体ウエハー向け枚葉式洗浄装置「SU-3400」が「日経産業新聞賞」を受賞

■ 日経優秀製品・サービス賞

日本経済新聞社が主催。毎年1回、特に優れた新製品・新サービスを表彰。約2万点の候補の中から厳正な審査を経て、約40点の受賞製品・サービスが選出される

2023年 日経優秀製品・サービス賞
https://www.nikkei.com/edit/news/special/newpro/2023/

SU-3400

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>今後も半導体デバイスの省エネルギー化、環境負荷低減を推進するとともに、半導体洗浄装置のリーディングカンパニーとして、半導体業界のさらなる発展に貢献

「Science Based Targetsイニシアチブ（SBTi）※1」の認定を更新
～1.5℃水準に整合的な温室効果ガス（GHG）削減目標～<2024年1月11日>

2020年にSBTiから「Well below 2℃水準※2」の認定を取得していましたが、新たに「1.5℃水準」に整合的な目標として認定を取得

GHG排出量削減目標

対象Scope	2030年3月期目標
事業活動によるGHG排出量 （Scope1、Scope2）	2019年3月期比50.4％削減 （総量）
販売した製品の使用によるGHG排出量 （Scope3 カテゴリー11）	2019年3月期比58.1％削減 （売上総利益原単位）

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

※1 科学的根拠に基づいたGHG排出量削減目標の設定を求める、地球温暖化防止に向けた国際的なイニシアチブ

※2 世界の気温上昇を産業革命前より2℃を十分に下回る水準

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>再生可能エネルギーの導入拡大や、省エネルギー、創エネルギー施策を促進。省エネルギー性能を備えた優れた製品開発を通じ、気候変動への取り組みを一層推進

半導体先端パッケージ専用の塗布乾燥装置「Lemotia」を開発<2023年12月5日>

株式会社SCREENファインテックソリューションズは、5G／ポスト5G関連や、IoTインフラ、データセンターを中心に拡大が続くFOPLP※1基板やガラスコア・サブストレート※2などに対応した、半導体先パッケージ専用の塗布乾燥装置「Lemotia（レモーティア）」を開発。
2024年4月に、SCREENホールディングスが販売を開始予定

- コーターデベロッパー「SKシリーズ」で培った技術とノウハウを活用。
  PLP向け専用設計により、従来製品比フットプリント30%、電源容量10%削減を実現
- 低粘度から高粘度まで多種多様な薬液の塗布に対応し、高精細化、複雑化するFOPLPの製造工程に対応
- 全てのプロセスユニットで反り対応機構を採用することにより、均一性の高い成膜が可能に

※1 Fan-Out Panel Level Packaging：FOWLP（Fan-Out Wafer Level Packaging）の製造方法を、ウエハーよりも大きなパネルに適用した半導体パッケージ

※2 半導体パッケージ基板の一種で、従来の樹脂基板に代わってガラスを使用したもの

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>拡大が続く半導体パッケージ業界のさまざまなニーズに応え、同業界の発展に貢献

量子アニーリングのベンチャー企業 シグマアイ社の株式取得 <2023年12月1日>

株式会社SCREENホールディングスは、量子アニーリング技術を活用したソリューションを提供する株式会社シグマアイの株式を、スパークス・グループ株式会社からの一部譲受により取得。シグマアイ社は、当社の持株比率が20%以上の持分法適用関連会社となる

- 量子アニーリングは、大規模高次元データを瞬時に処理するための要素技術。工場や物流、農業、防災などの分野で、組合せ最適化による効率的なスケジュール設計や材料探索、機械学習による予測などに活用する

- 今回の出資により、スパークス社とともに、シグマアイ社の量子アニーリング技術の早期実用化をサポート。当社とシグマアイ社の持つ技術や知見をより深く融合し、半導体製造装置を中心とした当社既存ビジネスや、新規事業領域など幅広い分野で連携する

■出資先概要

(1) 名　称：　株式会社シグマアイ
(2) 本社所在地：　東京都港区港南1-2-70　品川シーズンテラス 6階
(3) 代表者：　代表取締役　大関 真之
(4) 設　立：　2019年4月

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>シグマアイ社は、量子アニーリングに関する独自の根幹技術を持つ。活用事例を豊富に持つ東北大学の研究成果を社会に還元するため、さまざまな研究開発機関、事業会社との共同開発を進める

新ブランド「SCRAIS (スクライズ)」を立ち上げ
～AI技術による最新の検査計測ソリューション～ ＜2024年1月29日＞

株式会社SCREENホールディングスは、グループ会社※1と共同で、半導体ウエハーやプリント基板向けの最新AI検査計測ソリューションを展開。2024年6月から販売開始

- AI技術と当社独自のコア技術である画像処理技術を融合。検査計測ソリューションとして実績のある「AIによる虚報フィルタリングシステム」の後継版を「SCRAIS (スクライズ)」というブランド名で展開
- 虚報削減率80%以上、欠陥見逃し率0.1%以下※2を顧客導入目標として、最適なアルゴリズムの構築、AIモデル開発にかかるラベル付け工数の削減、ADC※3への深層学習（Deep Leaning）の適用、検査時の設定工数削減などを進める

※1　株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ、株式会社SCREEN PEソリューションズ、株式会社SCREENアドバンストシステムソリューションズの3社

※2　一般的な人間の誤認識率をはるかに上回り、致命的な欠陥がないとされるレベル

※3　自動欠陥分類（Auto Defect Classification）

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>AI技術を活用したソリューションの提供を通じ、お客さまの検査計測工程の工数削減、コスト削減や歩留まり改善などの課題解決に貢献

京都フィナンシャルグループと「持続可能な社会の実現に向けた包括連携協定」を締結 ＜2023年11月28日＞

当社は京都府を中心に顧客基盤を築く株式会社京都ファイナンシャルグループとの連携により、互いが持つ知見を生かし、社会課題の解決に向けた取り組みをサプライチェーン全体に広げることを目指す

＜連携内容＞

① 地球環境・地域環境への負荷軽減

② サプライチェーンにおける人権尊重の啓発

③ サステナビリティ向上に資する取り組み　など

締結式の様子

（左から）
京都フィナンシャルグループ　社長　土井 伸宏
SCREENホールディングス　会長　垣内 永次

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>環境問題や人権問題を中心とした社会課題解決に積極的に取り組み、社会の持続的な発展に貢献

Topics>>

当社ウェブサイト「大和インターネットIR表彰2023」の「優良賞」および、「日興アイアール 2023年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」の「総合部門 優秀サイト」に選定

■大和インベスター・リレーションズ株式会社 「大和インターネットIR表彰 2023」

・企業IRはインターネットに包摂されるという『5T＆C』＊の考え方のもと、2023年6月1日時点の上場企業4,048社のホームページを調査・評価
＊Timely(適時性）、Transparent(透明性）、Traceable(追跡可能性）、Trustworthy(信頼性）、Total(包括性）＋Communication(双方向性）

・二次審査の結果、日本語版の評価点が 70 点以上の 232 社の英語版IRサイトについても評価を実施。英語版の評価点と二次審査における日本語版の評価点を日本語版：英語版＝5：5の比率で統合し、総合評価点を算定

・当社は、「優良賞」（144社）に選定

詳細はこちら（大和インベスター・リレーションズ株式会社 サイトへ）

■日興アイ・アール株式会社 「2023年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」

・「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した客観的な評価項目に基づき、2023 年7月3日時点での全上場企業 3,970 社のホームページについて調査

・2次評価対象企業1,173 社から、総合、業種別、スタンダード市場、グロース市場の４つのカテゴリーで上位企業を表彰

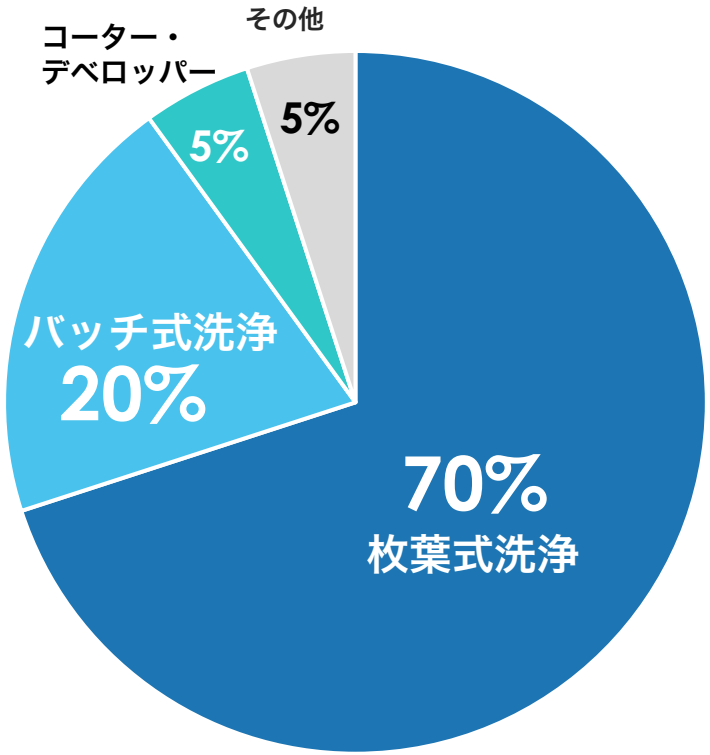
・当社は、「総合部門 優秀サイト」（132社）に選定
（2022年度：優秀サイト、2021年度：優良サイトに選定）

詳細はこちら（日興アイ・アール株式会社 サイトへ）

>>今後も、株主・投資家情報の充実・改善を図り、ステークホルダーの皆さまとの対話を促進

Appendix>> 単独・売上高比率

製品別売上高比率 - FY2024/03 3Q累計



(%)	FY2021/03 通期	FY2022/03 通期	FY2023/03 通期	FY2024/03 3Q累計
枚葉式洗浄	70	70	65	**70**
バッチ式洗浄	25	25	25	**20**
コーター・デベロッパー	5	5	5	**5**
その他	0	0	5	**5**

※上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix>> 主要数値の変遷

（億円）	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03 予想
売上高	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	**5,000**
営業利益	296	125	244	612	764	**885**
営業利益率（%）	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	**17.7**
総資産	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	**-**
自己資本	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	**-**
自己資本比率（%）	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	**-**
ROE（%）	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	**-**
減価償却費	68	88	96	95	87	**110**
設備投資額	240	79	78	134	290	**300**
研究開発費	228	215	215	240	247	**290**
EPS（円）	387.10	107.37	325.21	976.55	1,216.33	**674.83**※1
配当金（円）	97	30	90	293	365	**-** ※2

※1 FY2024/03の予想EPSは、株式分割の影響を考慮しています
※2 FY2024/03の予想配当金は、株式分割の実施により単純合計できないため非表示

Innovation for a Sustainable World